

製品名: GPR156 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11651**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	89kDa

抗原情報

遺伝子名	GPR156
別名	GPR156; GABAB1; PGR28; Probable G-protein coupled receptor 156; G-protein coupled receptor PGR28; GABAB-related G-protein coupled receptor
遺伝子 ID	165829.0
SwissProt ID	Q8NFN8
免疫原	抗血清はヒト GPR156 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 501-550

背景

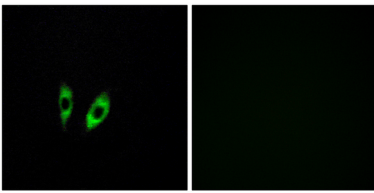
G タンパク質共役受容体 (GPCR) は、7つのらせん状の膜貫通ドメイン、N 末端細胞外ドメイン、C 末端細胞内ドメインを特徴とす

る細胞表面受容体の大規模なスーパーファミリーです。[OMIM 提供、2008年3月], 機能: オーフアン受容体。 , 類似性: Gタンパク質共役受容体3ファミリーに属する。GABA-B受容体サブファミリー。 , 組織特異性: 中枢神経系および末梢組織の両方で普遍的に発現する。胎児脳および精巣では、他の組織と比較して非常に高い発現を示す。 ,

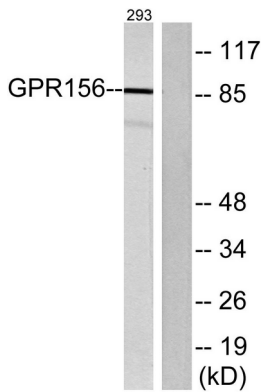
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

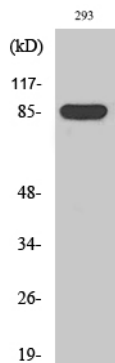
画像データ



GPR156抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



GPR156抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



GPR156ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析